

よろこび

日蓮宗 開聖会

本山 妙顕寺

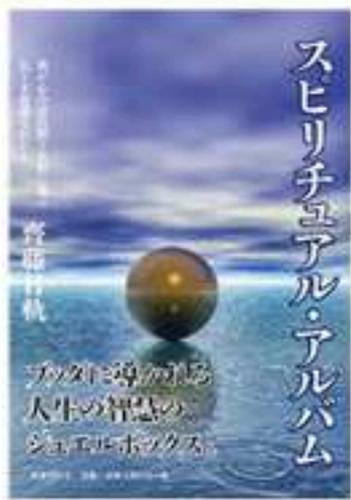
長谷山 本誓寺

『よんじび』十七 貫首 齊藤 日軌

此の度、石仏庵記および本山妙顕寺ホームアルバムページ瞑想録に掲載した文章を整理し、『スピリチュアル生活のおまぐら』を国書刊行会から出版しました。皆様のよろこび生活のお役に立てる事を願っています。

「北海道の中心に位置する富良野。そこに建つ本誓寺・石佛庵ではスピリチュアルな力をもった石たちが神仏と戯れる。金山石、神居古潭石、虎目石、アメジスト、水晶、水藻石、翡翠、瑪瑙……。そこで暮らす石佛庵住職は、石たちを愛で、瞑想に入り、前世を思い出し、体外離脱や夢のなかで、蓮聖人やお釈迦様に教えを受け、蓮宗本山妙顕寺第四十九世貫首に就任する。

石佛庵住職がつづる、「ブツダに導かれし人生の智慧を収めたジュエルボックス。」(国書刊行会ホームページ)



スピリチュアル・アルバム



みおしえ

私達の意識には、川のように流れる想念の流りがありません。鬱々として引き籠もりの心など、過去の失敗などを引きつめていたこと、後悔や自責、苦しみ、苦悶の連続といえます。これは後悔の念などは、その想念が渦を巻いて縲り返し、自分を攻め続ける力。ルマにまで成長してしまいません。これを攻め続ける力は、流れや渦はそこにはまり込みます。これからの想念のまかせん。夏に何でもなさそうに遊んでいたりする子供たちに、流されて私達には自分自身に巻き込まれたりする意識の流れてから出てこれなくなり、苦しみの意。一方、一つもこれに楽しそうに「よかったです、よかった、よかった」と話しかけてくれる人もいます。よかったです、よかった、念の流れていきます。くるしの想念の流れて止める想のこと、流れに換えること、比較的容易です。身の周りの流れに感謝し、南無妙法蓮華経と唱えよう。身の周りの流れに感謝し、南無妙法蓮華経と唱えよう。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱え
感謝からよろこびの流
れに入りますように

